

釜石発

保育施設に絵本を寄贈

震災翌年から被災地の幼稚園や保育園に絵本を贈る取り組みを行っている生命保険会社などで作る団体が釜石市の鶴住居幼稚園を訪れ、新しい絵本17冊を園児に手渡しました。園児からはお礼に釜石の郷土芸能、虎舞の絵が入った手作りのしおりが贈られました。このほか市内3つの施設にも絵本が贈られることになっています。(8/24 ニュースエコー)



大槌発

旧役場庁舎で再調査

東日本大震災で当時の町長をはじめ多くの職員が犠牲となった大槌町の旧役場庁舎を、先月就任した町の震災検証室の小山雄士室長が調査しました。この調査は3年前に防災の専門家が行った検証が町民などから不十分との声が上がったため、震災の発生時に県の総合防災室長だった小山氏が改めて調査することになったものです。(8/25 ニュースエコー)



宮古発

復興道路の工事見学会

宮古市立藤原小学校の5年生が宮古の市街地を抜ける宮古盛岡横断道路、小山田トンネルの工事現場を見学しました。現場では災害時や救急医療、そして地域活性化に道路は大きく役立ち復興の先導的な役割を果たすことが説明されました。普段は中々見ることのできない復興の最前線に子どもたちも興味津々の様子でした。トンネルは10月に完成します。(8/26 ニュースエコー)



大船渡発

「過重労働」解消でポスター

「気仙地域の復旧・復興工事関係者らが違法な時間外労働などの「過重労働」解消のための統一ポスターを発表しました。「早期復興のために今日はお帰りください」と大きく記されたポスターは、大船渡労働基署や県、大船渡市、陸前高田市、施工業者などで組織する「気仙会議」が製作しました。今年3月に大船渡市で復興工事に関わっていた男性が違法な時間外労働を余儀なくされ亡くなっています。(8/29 ニュースエコー)



陸前高田発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は陸前高田災害FMの菅野陽子さんが、8月28日に、建設中の総合交流センター敷地内で開催された「希望郷」いわて国体デモンストレーションスポーツ・ビーチバレー競技について伝えてくれました。勝敗を競い合う正式競技とは違い、健康増進や体力向上のため誰でも参加できる競技会とあって、この日は県内31チーム、約200人が優勝を目指して出場、気仙地区からも25チームが参加しました。結果は花巻市のチーム「なおきゃんズ」が優勝したという事です。東日本大震災が発生するまでは高田松原海岸を会場にビーチバレー競技が行われていたそうで、菅野さんは「また海の隣でプレーができる日が来る事を願っております。」と話していました。(8/31)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibt.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122